【がん種】 多発性骨髄腫
【レジメン名】 DBd①1～3コース目
【登録番号】 011324
【1コースの期間】 3週間
【総コース数】 3コースまで（忍容性があればDBd②4～8コース目 を施行する）
【催吐性リスク】 軽度：ダラザレックス、最小度：ベルケイド
【抗がん剤の組織障害性】 イリタント（炎症性）：ベルケイド、ノンビシカント（非壊死性）：ダラザレックス
【投与量に制限のある薬剤】 なし
【主な有害事象】 編集中

【必要な検査】 編集中
【根拠論文】 N Engl J Med 375:1319-1331, 2016.
【点滴の時間】 [day1]1コース目約8時間35分, 2コース目～約5時間15分、[day8]1コース目約6時間5分, 2コース目～約5時間15分、[day15]約5時間15分
【費用】 編集中
【その他】 ダラザレックス：正式採用品ではないため「限定使用薬品申請書」の薬剤部への提出が必要. 調製後15時間以内に投与を終了する.
治療開始前に間接クームス試験を実施する（最終投与から6ヵ月後までは、検査結果が偽陽性になるおそれがあるため）.
ベルケイド：調製後8時間以内に投与を終了する.

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日															
					1	2	…	4	5	…	8	9	…	11	12	…	15	…	21
1	アシクロビル錠 200mg	2 錠/回	内服	1日1回朝食後	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ＆フラッシュ	○						○						○		
3	アセトアミノフェン錠 200mg	4 錠/回	内服	1日1回 ダラザレックス投与1時間前	○						○						○		
4	生理食塩液 50mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL ポララミン注 5mg/1mL	1 B 3 V 1 A	側管	全開 開始時にアセトアミノフェン内服	○						○						○		
5	生理食塩液 100mL	1 B	側管	1時間	○						○						○		
6	生理食塩液 1000mL ダラザレックス点滴静注 初回 50mL/hで開始し、1時間毎に50mL/hずつ速度を上げ、最大200mL/hまで	1 B 16 mg/kg	側管	フィルター使用 全量1000mLに調製 1コース目	○														
7	生理食塩液 500mL ダラザレックス点滴静注 2回目 50mL/hで開始し、1時間毎に50mL/hずつ速度を上げ、最大200mL/hまで 3回目～ 100mL/hで開始し、1時間毎に50mL/hずつ速度を上げ、最大200mL/hまで	1 B 16 mg/kg	側管	フィルター使用 全量500mLに調製 2コース目	○						○						○		
8	生理食塩液 20mL ベルケイド注射用 調製開始から8時間以内に投与終了	1 A 1.3 mg/m2	皮下注	2.5mg/mLの濃度に調製 27Gの針 腹部、大腿部	○			○			○			○					
9	レナデックス錠 4mg 朝食後に服用できない場合には可能な限り早い時間に服用	5 錠	内服	1日1回朝食後		○		○	○			○		○	○				